

# 資料提供

石川県立美術館

## 報道各位

日頃から当館の広報につきましてご協力をいただき、ありがとうございます。

令和元年11月22日（金）～12月22日（日）の間、「東京国立近代美術館工芸館名品展」を別紙のとおり開催します。

以上、ご案内申し上げますとともに、広報宜しくお願い致します

## 東京国立近代美術館工芸館名品展

# 漆・木・竹工芸のみかた

令和元年11月22日（金）～12月22日（日）

### 【資料提供】

石川県立美術館

金沢市出羽町2番1号

電話 076-231-7580

担当：普及課 前多

URL ; <http://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/>

E-Mail ; [ishibi@pref.ishikawa.lg.jp](mailto:ishibi@pref.ishikawa.lg.jp)

## 東京国立近代美術館工芸館名品展

# 漆・木・竹工芸のみかた

令和元年 11月22日(金)～12月22日(日)  
石川県立美術館 第5展示室



田口善国 《日蝕蒔絵飾箱》 1963年 東京国立近代美術館蔵

政府関係機関の地方移転の一環として、東京国立近代美術館工芸館が移転することとなり、石川県金沢市に日本海側初の国立美術館が誕生します。

独立行政法人国立美術館、石川県、金沢市では、移転に向けた気運の醸成を図るため、実行委員会を組織して、移転までの毎年度、県内で東京国立近代美術館工芸館の所蔵品を紹介する展覧会を開催することとしました。

四回目となる本年度は、本県が全国に誇り、数多くの著名な作家を輩出してきた「漆工」をはじめ、「木工」・「竹工」も含めた分野から、重要無形文化財保持者（人間国宝）の作品をはじめとした48点を紹介します。

主な出品作品	田口善国	《日蝕蒔絵飾箱》	1963年
	大坂弘道	《黒柿蘇芳染拭漆宝相華文嵌荘箱 西華》	2007年
	勝城蒼鳳	《波千鳥編盛籃 溪流》	1983年

### 問い合わせ先

〒920-0963 金沢市出羽町2番1号 石川県立美術館  
電話 076-231-7580 FAX 076-224-9550

## 開催概要

- 会 期 令和元年 11 月 22 日（金）～ 12 月 22 日（日）  
開館時間 午前 9 時 30 分～午後 6 時（入館は閉館 30 分前まで）  
主 催 「東京国立近代美術館工芸館名品展」等実行委員会  
石川県・金沢市・東京国立近代美術館  
後 援 文化庁・北國新聞社  
会 場 石川県立美術館 2 階第 5 展示室  
アクセス JR 金沢駅から兼六園シャトル「県立美術館・成巽閣前」下車徒歩 2 分  
北陸自動車道金沢西・金沢東・金沢森本インターより 20～30 分  
〒920-0963 石川県金沢市出羽町 2-1
- 観覧料 一般 370 円（290 円） 大学生 290 円（230 円）  
\*（ ）内は 20 名以上の団体。  
高校生以下は無料 65 歳以上は人数に関わらず 290 円。  
※上記観覧料でコレクション展もご覧いただけます。  
※12 月 2 日（月）は無料観覧日です。

## イベント情報

内容や日程については変更の可能性があります。最新情報は HP でご確認ください。

### ◆講演会&ミュージアムコンサート（参加無料、要申込）

日時 12 月 8 日（日）午後 1 時 30 分～（開場午後 1 時）

会場 石川県立歴史博物館 ワークショッブルーム

内容 ①ミュージアムコンサート（午後 1 時 30 分～）

ヴァイオリン：坂口昌優氏、渋谷優花氏、ヴィオラ：般若佳子氏、  
チェロ：福野桂子氏

②講演会「昭和・平成に活躍した漆芸家」（午後 2 時～3 時）

講師：増村紀一郎氏（重要無形文化財「髹漆」保持者・東京藝術大学名誉教授）

定員 60 名（応募者多数の場合は抽選）

申込方法：往復はがきに住所・氏名・電話番号・応募人数を記載し下記まで送付

（はがき 1 通につき 2 名まで申込可）〒920-8580（住所詳細不要）

石川県文化振興課「プレイベント」係あて 11 月 22 日（金）必着

### ◆ギャラリートーク（要観覧料、申込不要）

日時 11 月 22 日（金） 午前 10 時～11 時

12 月 22 日（日） 午前 11 時～12 時

会場 石川県立美術館第 5 展示室

広報用図版 請求票 FAX : 076-224-9550 広報担当 行

発信日 年 月 日

✓欄	No.	作家名	作品名	制作年
	1	田口善国	日蝕蒔絵飾箱	1963年
	2	佐治賢使	都会	1960年
	3	関島寿子	無題 かご(No.401)(No.396)(No.381)	1993-94年
	4	青峰重倫	ゼブラウッド鉢 風笛	1956年
	5	栗本夏樹	秀吉の陣羽織	2014年
	6	栗本夏樹	織田有楽斎	2014年
	7	大坂弘道	黒柿蘇芳染拭漆宝相華文嵌荘箱 西華	2007年
	8	増村紀一郎	乾漆輪花鉢 朱と黒	1982年
	9	藤沼昇	根曲竹花籃 春潮	2001年
	10	勝城蒼鳳	波千鳥編盛籃 溪流	1983年
	11	池田 巖	黒金入花入	2016年
	12	松田権六	渚蒔絵桼棗	1960年
	13	赤地友哉	曲輪造彩漆中次	1973年

- ご希望の図版の番号左に✓を入れてFAXでお送りください。
- 作品図版はJPEGデータをご用意しています。
- 展覧会広報のみにご使用ください。
- キャプションには東京国立近代美術館蔵と明記してください。  
(例：田口善国《日蝕蒔絵飾箱》1963年 東京国立近代美術館蔵)
- 著作権保護のため、他の目的でのご使用は固くお断りいたします。
- 掲載見本を広報担当者へご寄贈ください。(Webサイトの場合は掲載時にお知らせ下さい)

ご担当者名：

E-mail：

貴社名：

出版物・放送番組・ウェブサイト名：

URL (http://www

)

掲載予定号・発行日/放送・公開日時等：

電話番号： ( )

展覧会プレス・リリース  
石川県立美術館



① 田口善国



② 佐治賢司



③ 関島寿子



④ 青峰重倫理



⑤ 栗本夏樹



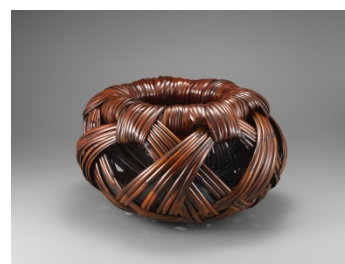
⑥ 栗本夏樹



⑦ 大坂弘道



⑧ 増村紀一郎



⑨ 藤沼昇



⑩ 勝城蒼鳳



⑪ 池田巖



⑫ 松田権六



⑬ 赤地友哉



田口善国(日蝕蒔絵飾箱)1963年

# 漆・木・竹<sup>工芸</sup> の みかた

東京国立近代美術館工芸館名品展

**2019/11/22(fri) ~ 12/22(sun)**  
**9:30-18:00**(入館は**17:30**まで) 会期中無休

観覧料 | 一般 370(290)円、大学生 290(230)円

- ( )内は20名以上の団体料金。消費税込。上記観覧料でコレクション展もご覧いただけます。
- 高校生以下無料。入館の際、学生証をご提示ください。

主 催 | 「東京国立近代美術館工芸館名品展」等実行委員会・石川県・金沢市・東京国立近代美術館

後 援 | 文化庁・北國新聞社

石川県立美術館  
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART





# 漆・木・竹工芸 の みかた

## 東京国立近代美術館工芸館名品展



①



②③④



⑥

⑦



⑤



⑧



⑨



⑩



⑫



⑪



⑬



⑭

- ① 佐治賢使《都会》1960年
- ②③④ 関島寿子《無題 かご》(No.401) (No.396) (No.381) 1993-1994年
- ⑤ 青峰重倫《セブラウツ鉢 風笛》1956年
- ⑥ 栗本夏樹《秀吉の陣羽織》2014年
- ⑦ 栗本夏樹《織田有楽斎》2014年
- ⑧ 大坂弘道《黒柿蘇芳染拭漆宝相華文嵌荘箱 西華》2007年
- ⑨ 増村紀一郎《乾漆輪花鉢 朱と黒》1982年
- ⑩ 藤沼昇《根曲竹花籃 春潮》2001年
- ⑪ 勝城蒼鳳《波千鳥編盛盆 溪流》1983年
- ⑫ 池田巖《黒金入花入》2016年
- ⑬ 松田権六《渚時絵漆盥》1960年
- ⑭ 赤地友哉《曲輪造彩漆中次》1973年

※いずれも東京国立近代美術館蔵

東京国立近代美術館工芸館は、2020年、石川県金沢市へ移転します。それに先駆け、2016年度より、石川県立美術館をはじめ石川県内の美術館において、工芸館の選りすぐりのコレクションを紹介してきました。4度目の企画となる今回は、漆工・木工・竹工分野から48点を展示します。

今回のテーマは、「漆・木・竹工芸の見方」です。提案する作品の見方は、まず2つ。「近づいて見る」と「遠ざかって見る」です。作品を「近づいて見る」と、制作上のこだわりの工夫や作品の組成に気づくことができます。また、近づいて見るのと同様に、「遠ざかって見る」ことも重要です。全体を捉えることで、フォルムや構造が見えてきます。

さらに3つ目として、「他と比べて見る」という視点も提案します。例えば、「編む」という共通点から作品に着目してみると、竹のヒゴを編んでいるもの、木の皮を編んでいるもの、編まれたものの上に漆を塗ったものもあります。素材の違いや表面の処理など、それぞれを比べてみることで、新しい発見があるのではないのでしょうか。

①近づいて見る・②遠ざかって見る・③他と比べて見るという3つの見方によって、漆工・木工・竹工作品の新たな魅力を見つける機会になれば幸いです。

### ■ギャラリートーク

申込不要/要観覧券

11月22日(金) 10:00~11:00 唐澤昌宏(東京国立近代美術館工芸課長)

12月22日(日) 11:00~12:00 成田暢(東京国立近代美術館工芸課特定研究員)

### ■講演会&ミュージアムコンサート

「昭和・平成に活躍した漆芸家」

要申込・定員60名/参加無料

12月8日(日) 13:30~15:00(開場13:00)

ミュージアムコンサート 13:30~14:00

講演会 14:00~15:00

増村紀一郎氏(重要無形文化財「髹漆」保持者・東京藝術大学名誉教授)

※石川県立歴史博物館 ワークショップルームにて開催

※《申込方法》往復ハガキに住所・氏名・電話番号・応募人数を記載し下記住所に送付(ハガキ1通につき2名まで申込可)〒920-8580 (住所詳細は不要)石川県文化振興課「プレイベント」係あて 11月22日(金)必着

### <東京国立近代美術館工芸館移転連携事業・関連事業>

#### ■0才からのファミリー鑑賞会

12月7日(土)14:00~、12月8日(日)10:00~ ※定員:各回30名 要申込

※石川県立美術館にて開催

#### ■「絵付けの魅力」

11月1日(金)~12月15日(日) 石川県九谷焼美術館にて開催

#### ■「人間国宝を中心に・陶磁器の美と技」

12月14日(土)~2月11日(火・祝) 石川県七尾美術館にて開催

#### ■「京都の工芸 近代から現代まで

~京都国立近代美術館所蔵品を中心に~

11月1日(金)~12月15日(日) 金沢市立中村記念美術館にて開催

#### 【入館料割引について】

11月22日(金)~12月15日(日)の期間中、以下の対象施設では、他の対象施設の観覧券の半券を提示すると、観覧料が団体割引になります。

対象施設: 石川県立美術館・石川県立歴史博物館・石川県立伝統産業工芸館・金沢市立中村記念美術館

有効期限: 鑑賞当日のみ有効(12/5(木)・12(木)は石川県立伝統産業工芸館休館)



### ACCESS

#### ■バス

JR金沢駅から兼六園シャトル乗車15分  
「県立美術館・成翼閣前」下車 徒歩2分

#### ■自家用車

北陸自動車道金沢西IC、金沢東IC、金沢森本ICより  
20~30分

## 石川県立美術館

ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒920-0963 石川県金沢市出羽町2-1

TEL 076-231-7580

http://www.ishibi.pref.ishikawa.jp